

仁礼っ子だより



須坂市立仁礼小学校学校通信
令和元年 8月28日(水)
第5号

2学期もよろしくお願ひいたします

8月22日(木)から2学期が始まり、元気いっぱいな子どもたちが学校に帰ってきました。22日に教室を訪れてみると、夏休みの思い出や2学期の抱負などを発表している学級もありました。

2学期は登校日数が86日(6年生は85日)と一年間で一番長い学期となります。運動会や児童会祭り、6年生は修学旅行と様々な行事もあります。運動会はまだまだ暑いなかで練習するため、子どもたちの体調管理には十分気を付けてまいりたいと思います。始業式では、まず、三浦市との交流に参加した児童から、そのなかで学んだことの発



表がありました。続いて、1, 3, 4年生代表児童からは夏休みの思い出や2学期に向けてのめあてが発表されました。それぞれに長いお休みならではの楽しみや学習があったことがうかがえ、今の自分をさらによくしていきたいという願いが感じられました。

始業式での校長講話より

明日23日は、今から38年前の8月23日、台風15号の影響でこの須坂市地域に大雨が降り、宇原川沿いに、川の水と一緒に、土や大きな石や太い木が川のように山から流れるという「土石流」が発生し、「尊い命」がうばわれ、多くの家や橋がこわされてしまうというとても大きな被害を受けた日です。私たちは、「尊い命」が一瞬のうちに失われたことへの悲しさを忘れずに、また、このような災害による犠牲者を、二度とださないという強い願いをもって過ごしていきましょう。



さて、そこで、2学期の校長講話は、「命」をテーマに話をしたいと思っています。

「今日は、自分は、どのくらいの重さで産まれたのだろう」です。皆さんは、自分が、どのくらいの重さで産まれたか知っていますか。私には88歳になる母がいるので聞いてみたら、私は、約3500グラムだったそうです。3500グラムということのこのくらいの重さです。(ペットボトルで示す)この重さの私を、母はお腹の中で育てていたんです。

さらに、お医者さんに聞くと、中には500グラムで産まれてくる赤ちゃんもいるそうです(500gのペットボトルを示す)へその緒から、管を通して栄養をあげて育てるのだそうです。

そして、赤ちゃんは、2日に一升の母乳を飲むそうです。母乳が出ないときはミルク(牛などの乳=牛の命)です。そして、母乳とは、お母さんの血液が乳腺を通して白い母乳になるのだそうです。お母さんの自らの体をめぐっている血液、すなわち、母の命そのものを2日に一升、あなた方や私に注ぎこんでくれて、私たちは大きくなったんです。

自分で作詞作曲をする歌手のさだまさしさんは、自分の誕生日は、母に感謝する日だと言っています。

自分たちが産まれた時の重さひとつをとっても、ここにいる一人一人は、違います。

でも、ここにいる皆さんの「命の重さ」は、「命の尊さ」は、誰一人とも変わりません。平等です。

2学期の登校日は、85日間(6年生)になります。9月に運動会、10月は6年生が東京へ修学旅行に。11月には児童会祭りなどがあります。以前にも、話をしましたが、仁礼小学校の「仁」という漢字は、相手を思いやるという意味があります。友(人)と友(人)のつながりや「命」というつながりを、ちょっと意識して、そして、「感謝して」この2学期は、一人一人が「ありがとう」の気持ちを伝え合いましょう。

【にれっこのようす】



祝 銀賞

合唱団は、レベルの高い北信地区合唱コンクールにおいて、銀賞を授賞しました。
おめでとうございます。今度はSBC合唱コンクールに向けてがんばっていきます。



8月24日早朝から大勢の保護者の皆様のご協力のもとPTA作業が行われました。1時間ほどの活動でしたが、校地内が見違えるほど美くなりました。ありがとうございました。



3年生以上の学年の廊下には夏休みに取り組んだ自由研究が張り出されています。普段の生活の中で「？」と思ったことを熱心に調べており、どれも力作ぞろいです。

連 絡

○英語専科の高橋有紀先生、教員補助員の境朱夏先生は、体調を整えるために1学期末で退職されました。

2学期から教員補助員として元田乃葉先生、ICT支援員(週1度)として内山紗希先生が着任します。

○非違行為防止研修

本年度も県内の教職員による不祥事があり、県民の信頼を損ねるような残念な状況が見られます。仁礼小学校では今年度も非違行為防止研修を積み重ね、教職員による非違行為防止に全力で取り組んでまいります。皆様のご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

尚、学校では「心や体の相談室」を保健室に設置しています。学校のこと、子どもさんのことで心配なことがありましたら保健室の養護教諭、または教頭に遠慮なくご相談ください。